

令和4年度 学校図書館基本計画・評価シート

06足立区立千寿桜小学校 校長 渡辺 円

1 学校教育目標

- 1 学ぶ喜びをもつ子ども：知識・思考とともに、学びに向かう力を重視する。
- 2 ふれあう喜びをもつ子ども：児童の主体的な活動の支援を重視する。
- 3 鍛える喜びをもつ子ども：バランスのとれた体力の向上をはかる。

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 児童の読書に対する意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
- ② 多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばす。
- ③ 様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。
- ④ 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

3 学校図書館の現状（令和3年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 20,205冊（蔵書基準冊数 9,960冊）／蔵書率 202.9%（前年度 199.8%）									
	② 新規購入図書 501冊／廃棄図書 311冊／増減冊数 190冊増									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.9%	1%	5.7%	6.7%	17.9%	4.9%	3.5%	7.8%	4.4%	46.1%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：9:00～15:45									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 43.3冊（前々年度末：23.02冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 85%（前々年度末：57.5%）									

（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 20,367冊（蔵書基準冊数 10,360冊）／蔵書率 196.6%（前年度末 202.9%）									
	② 新規購入図書 579冊／廃棄図書 418冊／増減冊数 161冊増									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.9%	0.9%	5.8%	7.6%	17.7%	4.8%	3.5%	8.0%	4.5%	45.1%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：9:00—15:45（前年度からの変更あり・なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 48.8冊（前年度末：43.3冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 89.6%（前年度末：85%）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 読みやすい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① 学校図書館を使う授業により、本を手にする機会が増える。 ② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について知る。		① 各クラス週1回、読書等の授業を学校図書館で行う。 ② 桜っ子推薦図書を利用して、年間一人あたり10冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%
目標達成状況	① 自分が読みやすいと思う本を探して、読書することができた。 ② 桜っ子推薦図書を利用して、年間一人あたり10冊以上の本を読むことができた。 ③ 年度初めに図書館の本の分類と本の探し方等、簡単な利用方法を指導することができた。	
第2学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる	

今年度の成果目標		達成基準
① 自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ② 図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。		① 各クラス週1回、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 桜っこの推薦を利用して、年間一人あたり10冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が10%以上
目標達成状況		
① 自分の興味のある本を探して、読書することができた。 ② 桜っこの推薦図書を利用して、年間一人あたり20冊以上の本を読むことができた。 ③ 調べる学習コンクールに参加し、学年で2人、入賞することができた。		
第3学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① サッカーに興味のある児童が、他のスポーツの本にも親しむ等、自分の興味のある本だけでなく、それに関連する本についても読書する意欲を育てる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。		① 各クラス週1回、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 桜っこの推薦を利用して、年間一人あたり10冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が10%以上
目標達成状況		
① 図書の時間を利用して、興味のある本を基に、その関連の本を紹介したり声掛けをしたりすることで、多くの本に親しんだ。 ② 年間を通して国語や総合の学習で学校図書館をつかい、調べ学習をしたり、資料をまとめる学習活動を行ったりした。 ③ 9割の児童が桜っこの推薦図書を10冊以上読み、多くの本に慣れ親しんだ。		
第4学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。	
今年度の成果目標		達成基準
① 自分の興味のある本だけでなく、今まで興味なかった本についても読書することができる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。		① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり24冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が10%以上
目標達成状況		
① 図書の時間以外にも読書に親しんだ。国語等の単元に関係する本を教室や廊下に展示し、日々の学習に生かした。司書による百科事典の使い方や分類の説明、ブックトーク等を取り入れ、各クラス月2回以上、学校図書を使用した授業を学校図書館や教室で行った。 ② 図鑑を含め、年間一人あたり24冊以上の本を読むことができた。国語の図鑑を作る学習では、百科事典を使用し、自分が不思議に思っていることについての図鑑を作成することができた。 ③ 学校図書館のきまりを守りながら、読書に親しむことができた。国語だけでなく、総合や社会科等で調べ学習の機会を多く取り入れたが、調べる学習コンクールに参加する児童はわずかに足りなかった。		

第5学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり24冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が10%以上
目標達成状況	
①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行うことができた。 ②年間一人あたり、調べ学習や教室の本などを含め、24冊以上の本を読むことができた。 ③8割の児童が桜っ子の推薦図書を10冊以上読み、多くの本に慣れ親しんだ。	
第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う ② 年間一人あたり24冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が10%以上
目標達成状況	
①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行うことができた。 ②年間一人あたり、調べ学習や教室の本などを含め、24冊以上の本を読むことができた。 ③調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が10%を超えた。	

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ・学校図書を選定し、児童が興味を持ちやすい本を、図書館に入れるように努めている。	・課題図書を複数の場所に置いたり、入口やカウンター付近に新しい本を置いたりするようにした。新しい本を児童が喜んで手に取り、貸し出し数が増えた。 ・各学年の廊下の飾り棚に、当該学年児童の学習や興味・関心に沿った本を設置するようにした。学校図書館外でも図書を手に取る機会が増え、貸し出し冊数の増加につながった。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ・図書館支援員の勤務日には、図書館に行き、その日をお願いしたいことを確認するようにしている。 ・月に一度は、計画会議を行い、次の月の業務内容を、確認している。	・図書館支援員の勤務日には図書館に行き、情報交換等を行った。国語の学習で支援員によるブックトークを取り入れたり、百科事典の使い方を支援員がサポートしたり、授業にも積極的に参加する機会を設けた。 ・管理職と司書教諭、図書館支援員、推進員で月1回、計画会議を行い次月の業務を確認するようにした。
【その他】 ・朝学習の時間に可能な時は、読み聞かせをお願いする。	・コロナ禍で昨年度できなかった図書ボランティアや図書委員会による読み聞かせを実施することができた。図書委員の読み

聞かせが好評で、委員会の仕事への意欲向上につながった。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

- ・昨年度同様、コロナ禍ではあったが、消毒作業等を行ったり児童への手洗いを呼びかけたりしながら年間を通して図書の貸し出しを安全に行うことができた。
- ・休み時間には図書委員会児童が放送で全校児童に呼びかけ、図書利用の活性化を図った。その結果休み時間に図書館に来る児童の数が増えた。
- ・クラスの図書授業及び休み時間の利用が増えたため、本の貸し出しが大幅に増えた。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

- ・規模や蔵書数が大変恵まれた本校の図書館について、令和4年度も引き続き、児童の図書館の利用が多かったと伺った。小学校での読書活動は、将来的にも大切なことなので、内容を精選し、図書館の充実を進めて行ってほしい。
- ・図書館支援員の週2日配置はありがたい。今後勤務日数が増えることを願っている。